

山 弓 連 令和3年第3号

令和3年12月 発行：山梨県弓道連盟

功 勞 表 彰

山梨県体育功労者表彰

10月30日 山梨県体育祭表彰式にて、山梨県弓道連盟 顧問 上野 捷利 氏（甲州支部）が、山梨県体育功労表彰を受賞されました。おめでとうございます。



研 習 会

地域社会弓道指導者研修会 報告

根津 里美

令和3年10月9日・10日、山梨県小瀬スポーツ公園武道館弓道場に於いて地域社会武道指導者研修会が開催されました。コロナ渦での開催につき多くの制限があったため、研修は2日間を4分割（各日午前の部、午後の部）し、各部10名程度の半日だけの研修となりましたが、中央講師：坂本武彦先生（教士八段）地方講師：芦澤茂幸先生（教士七段）、和智一雄先生（教士七段）より、体配・射技共に細かくご指導頂き、内容の濃い充実した時間を過ごすことができました。開

講式での講師挨拶で、坂本武彦先生は「短い時間だが、弓を引く皆さんがこれからも弓を好きであるために、悩んでいること、研究していることの手助けをしてあげたい」と言葉をかけて下さり、温かい雰囲気での研修会がスタートしました。

研修ではまず初めに一手行射を行い、終了後に先生方から総評・体配指導がありました。芦澤茂幸先生より①足踏み②狙い、矢乗りについて 足踏みについては後半の射技研修でもご指導頂き、左足の踏み出し角度と、腰を使って踏み開くこととの話しから、動作の注意点である「全ての動作は腰が基幹」が疎かになっているのだと気づかされました。和智一雄先生より①入退場②足捌きについて ・入退場の決まり事を稽古でもしっかりとすること「体配は自信を持ってできるように、動作の意味（何故その動作をするのか）を知り、理解すること」とご指導頂きました。坂本武彦先生から「ほとんどの人が一射目と二射目で同じ射ができていない」「普段の力を一射目から出せるようにするための工夫をしていますか？」と問われました。「・巻き藁のあり方・準備運動は自分の弱점에合わせて最適なあり方を見つける・自分の道具の特性を把握しベストな状態を見つける・自分の身体・心と向き合いコンディションの整え方を見つける、全ての状態を整えて一射目に臨めるようにするためにも、我武者羅に矢数をかけるのではなく自己の身体の特長やコンディションの整え方を研究するように」との総評でした。



次に射礼研修にて一つの射礼を行いました。射礼において一番求められることは” 調和” です。動作には基本があるけれど、身体が不自由な人もいれば年配の人、体格差のある人と組むこともあり、色々な状況を想定して常に気を配り調和をとること、またその中で自分の射を発揮できるように修練すること とご指導頂きました。「体配ができていない人はできている人と組むとよく目立つ。普段の稽古から動作の隅々まで気を送り、基本をしっかりすること」と受講者の多くが指摘されました。さらに「次に繋がる動作を考えて、次の” 動作の繋ぎ目” を綺麗に丁寧なことにすること」という言葉も印象的でした。例えば「膝を生かす」動作が上げられ、「膝を生かすことで礼の角度が決まり、立つ時の姿勢にも関わる。つまり” 射が生きるかどうか繋がる” 」と分かりやすく説明して下さり、総評にもあったように” 動作の意味を知り理解すること” の必要性を認識し勉強不足を痛感すると共に、強く心に響く言葉でもありました。

研修の後半は1人一手の射技研修を行い、行射する人の周りに受講生を集め「県内で弓を引くもの同士、お互いに射を見合い研究して欲しい」との想いを話され、個々の課題について細かく丁寧なご指導を頂きました。

研修最後の講話では、・コンプライアンス・ガバナンス・指導法等、指導者として遵守することや指導者のあり方について学びました。また、坂本武彦先生が指導者を”案内人” と呼ばれることやその考え方、言葉の響きに心惹かれました。本研修を受講したことで自らが指導者となり得る段階にあることを更に意識し、研修で学んだことを伝える義務があると感じました。仲間と研究し合い自らが模範となれるようこれからも努力したいと思います。



大会結果

第35回山日YBS杯争奪弓道大会

令和3年10月31日(日) 小瀬武道館弓道場

参加申込人数 55名 参加者 54名

男子の部

順位	氏名	支部名	段位	予選的中数	競射結果					
優勝	渡辺 啓和	富士吉田	初段	3	○	○	○	○	○	○
2位	山本 一博	教職員	五段	2	○	○	○	○	×	
3位	柴原 勇喜	富士吉田	三段	2	○	○	○	×		
4位	五味 峻太郎	甲府	四段	3	○	○	○	×		
5位	高橋 宏暢	甲府	参段	2	○	○	○	×		

予選通過者：24名 3位、4位、5位は4名による遠近競射 八寸的

参加申込人数 39名 参加者 38名

女子の部

順位	氏名	支部名	段位	予選的中数	競射結果					
優勝	大和田 幸子	南アツ入	五段	3	○	○	○	○		
2位	梶原 久美子	笛吹	五段	2	○	○	○	×		
3位	岡本 美鈴	甲府	五段	2	○	○	×			

予選通過者：15名

参加申込人数 32名 参加者 29名

称号の部

順位	氏名	支部名	称号段位	予選的中数	競射結果					
優勝	鮫島 誠一	甲府	錬士六段	2	○	○	×	○		
2位	古屋 清記	山梨	錬士五段	2	○	○	×	×		
3位	小岱 良子	笛吹	錬士六段	2	○	○	×	×		

予選通過者：13名 2位、3位は2名による遠近競射

山日 YBS 杯入賞されたみなさん



男子の部



女子の部



称号の部



峡東ブロック代表者による演武

令和3年 納射会

令和3年12月12日(日) 緑ヶ丘弓道場

射数 納射一手と四ツ矢 計6射

参加申込人数 76名 参加者 69名

順位	氏名	支部名	段位	的中数	競射結果						
優勝	中村 昌夫	山梨	錬士六段	5	×	×	×	○	○	○	○
2位	久保田 誠	蕪崎	参段	5	×	×	×	○	○	○	×
3位	山下 弘行	山梨	錬士六段	5	×	×	×	○	○	×	

1位~3位 5中者3名による射詰競射

小瀬武道館弓道場が改修工事のため緑ヶ丘弓道場での大会開催となった。久々の緑ヶ丘弓道場に昔を懐かしむ声も聞かれた。

射会に先立ち、令和3年の締めくくりとして、菊池会長による矢渡し、峡東ブロック代表者による演武が行われた。



菊池会長矢渡し



入賞されたみなさん

昇段・昇格おめでとうございます

令和3年10月8日

錬士 小野 末子 (甲府)

教士 望月 勝男 (身延)

令和3年10月24日

【南関東第3地区】特別臨時中央審査

教士 高埜 よしみ (甲州)

令和3年12月19日

五段 秋山 史帆 (南アヅス)

高体連

第40回 関東高等学校弓道 個人選手権選抜大会

令和3年9月11, 12日

明治神宮 中央道場

決勝射詰進出者

男子 渡辺 竜温 (吉田) 順位なし

女子 藤橋 晴佳 (甲府東) 第8位

第64回 山梨県高等学校新人大会 兼 第56回千野トロフィー大会 兼 第40回全国高等学校弓道選抜 大会県予選

令和3年10月24日(日) 小瀬武道館弓道場

【団体】

女子

男子

優勝	甲府第一-A	優勝	甲府工業B
準優勝	甲府商業A	準優勝	巨摩A
第3位	韮崎A	第3位	青洲A
第3位	富士北稜A	第3位	甲府東A

【個人】

女子

優勝	羽田 百花	富士北稜
準優勝	中川 莉杏	韮崎
第3位	渡邊 杏花	富士河口湖

男子

優勝	古屋 羽琉	甲府工業
準優勝	渡辺 竜温	吉田
第3位	堀内 魁	甲府工業
第4位	藤井 ミッチー 一雄	青洲

全国高等学校弓道選抜大会出場権

女子

【団体】 甲府第一

【個人】 羽田 百花 (富士北稜)

中川 莉杏 (韮崎)

男子

【団体】 甲府工業

【個人】 渡辺 竜温 (吉田)

藤井 ミッチー 一雄 (青洲)

お知らせ

令和4年度全弓連事業実施方針(案)

全日本弓道連盟より令和4年度の事業実施方針(案)が出されました。

1. 大会について

- 全日本選手権大会(天皇杯、皇后杯)

選手選考は連合会枠とし参加人数制限

開催期間は男女各1日の2日間開催

- 全日本遠的選手権大会

参加人数は令和元年度と同様(男女各2名)

開催期間は男女各1日の2日間開催

- 全日本勤労者大会

令和4年度は全弓連主催行事とする

開催場所は中央道場

- 全日本弓道大会(京都)

京都にて開催予定

2. 審査会について

- 入館時間を制限し、滞留時間制限する

- 学科試験はレポート提出形式とする

- 五段審査はコロナ禍以前の連合審査会に戻す

- 三段審査までは地連の判断によりビデオ形式併用

3. 研修会・講習会

- 地区指導者講習会、指導者育成講習会は連合会

主催として実施する

上記方針に基づき山弓連の行事予定を作成しています。

訃報

小林 源治先生(教六)が11月19日ご逝去されました。ここに深く哀悼の意を表し、謹んでご報告申し上げます。

編集後記

コロナ禍により射会、審査等も新しい方式での実施が定着化しつつあります。今後も良いところはぜひ取り入れ、改革していきたいものです。

koho39ren@kyudo-yamanashi.com (綿奈部)